

学校だより

～ 塩っ子の夢と希望を育むために ～

No.2

高松市立新塩屋町小学校

TEL 851-2011

FAX 851-2059

e-mail e-sinsio@edu-tens.net

<15分×その学年の時間を家庭学習のめやすとして>

校長 池田 保



左の写真は、5年生の社会科の授業の様子です。「オーストラリアはどこにありますか。中国は？」という質問に、子どもたちは社会科資料集を使いながらその国を探し、黒板の世界地図上でその国を指し示したり、ワークシートに国名を記入するといった流れの授業です。今回の学習指導要領の改訂により、3・4年生においては、「自分たちの県の地理的位置と47都道府県の名称と位置」、5年生においては、「世界の主な大陸と海洋・主な国の名称と位置」が、学習内容として加えられています。

また、右下の写真は、15分間のチャレンジタイム（朝の活動）において、6年生の子どもたちが小数÷小数の筆算の計算練習に取り組んでいる様子です。学習指導要領において、「小数及び分数の計算能力を定着させ、それらを用いる能力を伸ばす」ことが、6年生の内容として加えられています。算数の学習内容は、下の学年からの系統（例えば、低学年で学習した繰り上がりや繰り下がり、九九の学習がそれ以降の学習の基礎）を重視しなければなりません。そのために、複数の教員による算数の時間の指導を充実していくとともに（少人数指導やTTによる指導）、算数の内容にしぼった朝のチャレンジタイムを活用しながら、子どもたちの理解の実態に即したスパイラル（反復）による繰り返し指導を行っていきます。



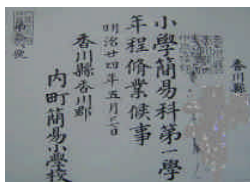
県名や国名を覚えたり、正確に計算したりする能力を着実に高めていく上で、学校での授業とともに大切になってくるのが、家庭学習であると考えています。15分×その学年（1年生なら15分、2年生なら30分・・・）を家庭学習のめやすの時間とし、時間割を合わせながら明日の授業の準備物を用意する、宿題をする、そして、自分で考えた学習をしていくこと等を続けさせて欲しいと思います。家庭学習を進めていく上での手引きをお知らせしていきますので、参考にしながらご活用ください。

遅くなりましたが、裏面に平成21年度の塩っ子教育の重点を掲載しています。平成22年4月の小学校の統合と小中一貫校の開校に向け、子どもたちの確かな学力の育成にあたっていきます。

<新塩屋町小学校の前身 鶴屋町尋常小学校の創立>

参考図書 「百年の歩み」(新塩屋町小学校)
「高松の事始め」(高松市)

- M 5. 8 学制の発布
※ 近代日本の建設に向けた全国的な学校の設立
- M 5. 12 校区近くの内町に内町小学校の設立
※ 学校の廃止と設置、校名の改称の連続



校区在住の方から提供いただいた第1学年の修業書からは、当時の行政圏が香川郡であることが分かります。

- M23. 2 高松市の誕生、市に鶴屋町尋常小学校と四番丁尋常小学校の設置が決定

- M25. 4 現在のコトデン片原町駅の地に、高松市鶴屋町尋常小学校の創立
開校当時の児童数が多いこともあり、古新町・今新町・瓦町に分教場を設置
- M35. 4 二番丁尋常小学校・新瓦町尋常小学校の開校により、鶴屋町小の分教場の廃止
- M31. 5 鶴屋町小校舎新築落成式
- M42. 4 児童数の増加により築地尋常小学校の開校

校区に今も残る鶴屋町尋常小学校の中庭にあった井戸のポンプ



このような学校を取り巻く変遷を見てみると、鶴屋町尋常小学校は、高松市の学校として初めて産声をあげた学校であり、高松市の教育先進校としての歴史と伝統を重ねてきた学校といえます。